



ID: 1351

科目名	日本の産業と企業【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	高木 郁朗			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	学内講義		
授業概要							
毎回の講義はパワーポイント用のレジュメにもとづいてすすめる、講義のなかで聴講学生へ質問する、手をあげて積極的に答えてほしい、積極的に答える学生は評価に際して加点する。							
到達目標							
日本の産業と企業に関する基礎的な知識のうえにたち、歴史と現状のうえにたち、日本の特徴が何であるかを学生が理解できるようにする。							
授業計画							
第1回	はじめに…この授業で何を勉強するか						
第2回	産業とは何か						
第3回	日本の産業構造						
第4回	産業構造変化の方向						
第5回	企業とはなにか						
第6回	日本の企業の統計的把握①…経済センサスの見方						
第7回	日本の企業の統計的把握②…産業別と規模別						
第8回	日本の企業の統計的把握③…企業のライフサイクル						
第9回	企業間関係…競争と寡占、系列						
第10回	企業の内部関係①…ステークホルダー						
第11回	企業の内部関係②…企業組織						
第12回	日本的経営といわれるもの①…戦前期、財閥と家族主義						
第13回	日本的経営といわれるもの②…戦後期、終身雇用制度の功罪						
第14回	企業活動の外部性						
第15回	おわりに…これからの日本企業						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
評価は出席点、授業への参加状況(質問への回答など)、および定期試験のかわりとなるレポートの提出・採点で行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30		70	+α
授業外学習			テキスト、教材				
			テキストは使用しない。				
参考書			受講生へのメッセージ				
参考文献については講義のなかで指定する。			オシャベリは厳禁。ひどい場合には名前を聞いて評価の際、減点する。				
キーワード							